



アーバインの風

教頭：餅田さおり

夏休み明け、夏の思い出を胸に一回りたくましくなった子どもたちが校舎に戻ってきてくれました。夏休みの宿題への多大なご協力をありがとうございました。今後もお困りのことがございましたら、担任や教科担当までお声掛けいただき、最善の方法等を相談させていただければと思っております。

さて、この九月は現地校で進級をし、新しい環境の中で平日を過ごしていることと思います。その中で補習校の学習も進めていくわけですから、精神的にも肉体的にも少々疲れが出てくる時期でもあります。お子さんの歩幅に合わせ、一步一步家庭学習を進めていかれると、「西大和の学習」も続けていけると思います。

12日には、多くの学年で前期期末・まとめテストが実施されます。結果だけがゴールではありませんので、これを機会に弱点補強をして後期の学習へ生かしていきましょう。

また、前期終業式の日配布する通知簿では、各学年の目標に沿って、普段の学習、テスト、子どもたちの関心・意欲・態度を総合的に判断して評価されております。引き続き、お子さんへの励ましをお願いしたいと思っております。

教科書下巻とドリル類を配布いたします。

5日に各学年・クラスより教科書とドリル類を配布します。ご家庭で必ず記名してください。使用する際には、各学年よりお知らせします。欠席のお子さんには、12日に配布します。

以下の教科書は、本校では使用しません。日本での体験入学やご家庭でご活用することがあるかと思っておりますので、念のため保管くださいますようお願いいたします。

1年生配布：「せいかつ下」「ずがこうさく1・2下」（日本の小学校では2年生で使用します。）

3年生配布：「図画工作3・4下」（日本の小学校では4年生で使用します。）

5年生配布：「図画工作5・6下」（日本の小学校では6年生で使用します。）

1年	2年	3年	4年	5年	6年
<教科書> ・こくご下 ・せいかつ 下 ・ずがこうさく 1・2 下 <ドリル類> ・「かん字のがくし ゆう」 ・「カタカナ」ノ ト ・算数ドリル下	<教科書> ・国語下 ・算数下 <ドリル類> ・漢字の学習 下 ・算数ドリル 下 ・九九カード	<教科書> ・国語下 ・算数下 ・社会下（本校4 年で使います。紛 失の場合の再配布 はできませんので <u>必ず保管願いま す。</u> ） ・図画工作3・4下 <ドリル類> ・漢字の学習 下 ・算数ドリル 下	<教科書> ・国語下 ・算数下 <ドリル類> ・算数ドリル 下 ・漢字の学習 下	<教科書> ・算数下 ・社会下 ・図画工作 5・6 下 <ドリル類> ・漢字の学習 下 ・算数ドリル 下	<教科書> ・社会下 <ドリル類> ・漢字の学習 下 ・算数ドリル 下

●●テストについて・教科書を読む⇒ドリルで復習を！●●

各学年より、範囲をお知らせしています。どの学年も原則、前期で学習したところが範囲です。広く感じるかもしれませんが、まず、教科書を「確実に読める」ことが「ステップ1」です。まずは、どの教科も、基本は教科書をよく読み、意味がわからない言葉を理解させておきましょう。お子さんがわからないことは、どんどん教えたり、一緒に調べたりしてみてください。「ステップ2」として、「ドリルで復習」です。テストでは、問題を解く「ワザ」も必要になりますので、テスト範囲のドリルの王様や算数ドリルで間違えた問題をもう一度やってみたり、読んだりしてみましょう。

授業プリントが配布されている場合には、それも復習しておきましょう。

テストが返却されましたら、間違えた問題を復習し、さらにお子さんの力が定着できるようご活用ください。

<学習の仕方例>

●●国語●●

前期に学習した教材を確実に読めるように「音読」しましょう。(自由音読欄へ記入するといいです。)

ドリルの王様の問題を、もう一度答えを隠して解いてみるのも一つの方法です。

●●算数●●

算数では、毎週のドリルで解き方の練習が含まれておりますので、問題の意図にあった答え方をもう一度復習しておくといいです。

高学年になると、円、直径、半径、長方形等、 $\frac{1}{3}$ は3つに分けた1つ分など、日本語が問われる部分もありますので、復習しておきましょう。

なお、時間割が変更になる学年につきましては、通信にてお伝えいたしますので、重ねてご確認ください。

●●社会●●

高学年の社会では、資料から、「何がわかるか」、「何を表す資料か」などの読み取りが基本的な力となります。教科書を読んで難しい言葉も理解しておくとともに、資料をよく見ておくことにも取り組んでおきましょう。

●●毎年！！よくある間違い・国語・算数●●

●国語●

例：「～書き出しなさい。」とか「書きぬきなさい。」

⇒ 答えに当てはまる言葉や文を全部書き出していない。⇒減点対象です。

例：～二つ選んで○をしましょう。⇒ 一つしか選ばない。(三つ選んでも減点対象です。)

★全教科に当てはまりますね。

例：2年生・・・丸、かぎ(「」)の書き方⇒ずっと使う「技術」として大切ですが、間違いが多いところでもあります。しっかり復習しておきましょう。

例：なぜ～ですか？→「～から。」と書かせることも高学年でも大切な、解き方の技能です。

●算数●

低学年では、何時半、何時何分を読むようになることが目標です。長針・短針のある時計を普段から見て、保護者の方と一緒に「言う」練習が必要です。デジタル時計が多い昨今であるからこそ、経験させたい生活経験ですね。

例：式と答えを書きましょう。→ 式に筆算をしてしまう。答えに単位を書かずに数字しか書いていない。

○式 $12 \times 3 \rightarrow \times$
筆算は式ではありません。
減点対象となります。

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 3 \\ \hline 36 \end{array}$$

答え ○36人 $\times 36 \rightarrow$ 数字だけの場合は減点対象です

何こですか？→4こ 何本ですか？→3本

何びきですか？→5ひきなど

*数え方も一緒に覚えてしまうチャンスです。

例：2年以上で出題される（かもしれない！）筆算については、横の線を書き忘れる子どもたちが毎年多数です。

位もそろえて書いているか、
チェックしてあげてください。

$$\begin{array}{r} 12 \\ + 3 \\ \hline 15 \end{array}$$

★丁寧に計算することも「日本の文化」です。

●●ドリルへの記名は油性ペンでお願いします。●●

お子様のドリル類の名前がはっきりと書かれておりますでしょうか。鉛筆で書かれているために、うすくなってしまって自分のものと確認がすぐできず、お隣のお子さんのドリルと入れ替わったりする場合があります。今一度ドリル類の記名をご確認いただけますよう、よろしく願いいたします。